

じぶんも あいても たいせつに

【人間関係・同意】

キーコンセプト

1.人間関係 2.価値観、人権、文化、セクシュアリティ 4.暴力と安全確保 5.健康とウェルビーイングのためのスキル

〇〇くんがおもしろがっておしりを
触ってくるんだ。
いやだけど、やめてって言えない…。
どうしたらいい？



「あなたなら、どう声をかけますか？」

Point!

1 まずは気持ちを受け止める

「いやだったね」「話してくれてありがとう」など、まずは否定せずに安心させましょう。

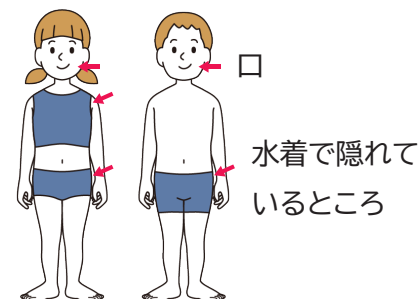
Point!

2 プライベートゾーンについて伝える

プライベートゾーンは、自分だけの大切な場所。
勝手に見たり触ったりしてはいけないことを伝えましょう。

プライベートゾーン

- 見ない
- 見せない
- 触らせない



Point!

3 「いや」と言っていていいことを伝える

「いやだよ」「やめてね」と伝えていいことを教えましょう。
そして、相手がいやだと言ったらやめることも同じように大切です。

Point!

4 困ったときはNO・GO・TELL

もし「やめて」と言っても続くときや不安を感じる時は、NO・GO・TELL を伝えましょう。

権利を守る大切なスキル

- NO** (ノー) 嫌なこと、不快なこと、危険なことをされたら、はっきりと「NO(やめて・いやだ)」と言う。
- GO** (ゴー) その場からすぐに立ち去り、安全な場所へ逃げる。
- TELL** (テル) 信頼できる大人(親、先生、警察など)に何があったかを話し、助けを求める。

子どもの「どうして？」に答えられますか？

～ 子どもの成長に合わせて学ぶ 包括的性教育～

問合せ 保健センター ☎0495-77-4041 FAX0495-77-0550

子どもたちは成長する中で、家族や友達、好きな人など、さまざまな人と関わりながら自分らしさや人との関わり方を学んでいきます。その過程で、心や体の変化、性に関する悩みや疑問に向き合う場面も出てきます。

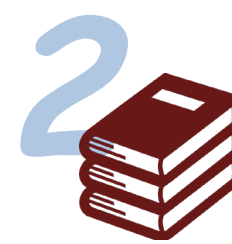
インターネットの普及により多くの情報に触れられるようになった一方で、誤った情報を信じたり、SNSを介したトラブルに巻き込まれたりする危険も身近になっています。だからこそ家庭や学校で子どもたちが正しい知識を学び、自分自身を大切にし相手を尊重しながら、自分で考え判断する力を育むことが大切です。

包括的性教育は「性」だけを教えるものではありません。人間関係や人権、ジェンダー、心と体の成長などについて総合的に学び、自分らしく生きる力を育む教育です。この教育は、ユネスコの「国際セクシュアリティ教育ガイダンス」で示された8つのキーコンセプトをもとに、子どもの成長に合わせて学んでいきます。

8つのキーコンセプト



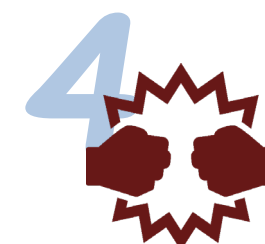
人間関係



価値観、人権、文化、
セクシュアリティ



ジェンダーの理解



暴力と安全確保



健康とウェルビーイング
(幸福)のためのスキル



人間のからだと発達



セクシュアリティと
性的行動



性と生殖に関する健康